

目標達成計画

作成日 平成 24年 9月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	二番館にふさわしい理念をつくる。職員一人ひとりが、理念の理解を深め、浸透を図る。	職員全員で、事例研究に取り組み、認知症介護に、何が必要なのか、大切にしたいのかを考える事で、理念の構築の手がかりを見つけ出す。理念の構築後、共有と実践の為にはどうしたらよいか皆で話し合う。	3ヶ月
2	4	運営推進会議のマンネリ化。運営推進会議に地域の方の参加が少ない。	毎回、運営推進会議に地域の方の参加があり、ご意見を伺ったり、グループホームからの情報を発信する。	自治委員さんや老人会、ふれあいサロンの方、防災委員の方々に声をかける方法の工夫(例えば、文書だけでなく、間近に電話確認とか)や、開催日や開催時間の工夫(行事や学習会に合わせるとか)をする。	12ヶ月
3	35	災害対策	災害時の避難場所や避難後の環境の変化等細かく分析し、訓練に活かされるようにする。	防災訓練時、実際の災害を想定した訓練を行う。訓練時に地域の方(防災士さんなど)に参加してもらい、利用者様のことを、知っていただき、馴染みの関係をつくっておく。日頃から避難場所の確認を一緒にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。